

歯科・歯科口腔外科

【スタッフ】

歯科系統括部長、歯科・歯科口腔外科部長：上原 雅隆

博士（歯学）

日本口腔外科学会 口腔外科専門医・指導医

日本口腔腫瘍学会 口腔がん専門医

日本がん治療認定医機構 がん治療認定医（歯科口腔外科）

歯科口腔外科医長：長畠 佐和子

日本歯科麻酔学会 歯科麻酔専門医

歯科口腔外科医長：西川 健

博士（歯学）

日本口腔外科学会 口腔外科専門医

日本がん治療認定医機構 がん治療認定医（歯科口腔外科）

非常勤歯科医師：入学 陽一

歯科衛生士：藤田 奈々絵、茨木 佑佳、生出 菜己

歯科技工士：高林 潤吏

【概要】

令和4年4月に口腔外科専門医が1名着任し、常勤歯科医師3名、非常勤歯科医師1名、歯科衛生士3名、歯科技工士1名の計8名で構成されています。

下関医療圏の二次医療機関としての役割が果たせるよう、一般開業歯科医及び他科との連携に重点を置き、診療を行っています。平成29年4月より口腔外科専門医・指導医が常勤となったため、全身麻酔手術を積極的に受け入れ、総合病院ならではの手術、診療を行っていることが特徴です。

手術内容は、智歯拔歯から顎顔面外傷、口腔内の良性及び悪性腫瘍などを対象としています。

また、他科の全身麻酔手術症例及び当科悪性腫瘍手術症例の前後は、歯科衛生士が中心となり、周術期口腔ケアとして口腔衛生処置を行っており、当院における術後肺炎の予防に貢献できるよう努力しています。

さらに、入院患者さま及び外来患者さまに対する一般歯科治療を行っています。

令和元年10月1日より日本口腔外科学会認定研修施設に認定されています。

【診療内容】

手術を中心とした口腔外科的治療、周術期口腔管理、一般歯科の3本柱で診療に当たっています。一般開業医からの紹介患者さまを中心に、特に口腔外科手術症例に力を注いでいます。

外来小手術としては、下顎智歯拔歯術が最も多く125例、それに続いて上顎智歯拔歯術

が 46 例、粘液嚢胞摘出術、頸嚢胞摘出術がそれぞれ 9 例、根尖切除術が 4 例、良性腫瘍切除術が 3 例となっています。

一方、全身麻酔手術症例は 104 例で前年度 107 例よりやや減少しました。その内訳は、埋伏智歯抜歯術が 66 例、嚢胞摘出術が 11 例、悪性腫瘍手術は原発及び頸部リンパ節に対する手術を合わせて 9 例で、前年度 12 例よりやや減少しています。

外来受診者数は 6,513 名で、前年度 6,267 名に比べ増加しました。周術期口腔機能管理患者数は 2,177 名で前年度 1,861 名に比べ増加しています。

【症例内容】令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月

外来受診者数（新患＋再診）：6,513 名（前年度：6,267 名）

（うち新患患者数：648 名（前年度：559 名））

<外来小手術>

下顎智歯抜歯術	125	根尖切除術	4
上顎智歯抜歯術	46	良性腫瘍切除術	3
粘液嚢胞摘出術	9	その他	20
頸嚢胞摘出術	9		
計：216 例（前年度 184 例）			

<全身麻酔手術>

埋伏智歯抜歯術	66	下顎悪性腫瘍切除術	2
嚢胞摘出術	11	下顎骨骨折整復固定術	1
頸骨腫瘍摘出術	8	骨隆起切除術	1
正中過剰埋伏歯抜歯術	4	頸部郭清術	1
舌悪性腫瘍切除術	4	口底悪性腫瘍切除術	1
腐骨除去術	2	上顎歯肉悪性腫瘍切除術	1
上顎洞根本術	2		
計：104 例（前年度 107 例）			

<周術期口腔機能管理患者数>

計：2,177 名（前年度 計 1,861 名）

<歯科技工物>

義歯新製	45	仮歯＋人工歯	14
クラウン	21	ブリッジ	12
メタルコア	15	インレー	11
義歯修理	15	スプリント	10
前装冠	14	その他	9
計：166 件（前年度 263 件）			

【活動報告】

第 67 回日本口腔外科学総会・学術集会出席（上原）

第 41 回日本口腔腫瘍学会総会出席（上原）

第 53 回日本口腔外科学会近畿支部学術集会出席（上原）

診療科長会議、手術部運営会議（上原）

医療安全推進担当者会議、NST 運営委員会（長畠）

【業績集】

<学会発表>

発表年	表題	著者	雑誌・巻・ページ
2022	Adult-onset xanthogranuloma manifested in maxillary sinus: a case report	Masataka Uehara ¹⁾ Daisei Yasuda ²⁾	European Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, 2022 December;6(3): 132-6

歯科・歯科口腔外科¹⁾ 病理診断科²⁾